

牛いっぱい！かわいさいっぱい！夢いっぱい！

自然豊かな八ヶ岳山麓で酪農サポーターとして活躍しよう！酪農家への支援

と循環型農業・耕畜連携を一緒に考える仕事

（地域おこし協力隊2名 令和8年4月採用）



1. どんな仕事か

はじめまして！佐久穂町産業振興課農政係の浅井です。

この度、酪農サポーターとして活動しながら、酪農経営の継続と循環型農業・耕畜連携の推進と一緒に考えてくれる仲間を募集します。

◆佐久穂町ってどんなところ

佐久穂町は、長野県の東部、標高800mから2400m、北八ヶ岳山麓に位置する人口10,200人ほどの小さな町です。避暑地として有名な「軽井沢」と「清里」の間にあり、北陸新幹線や中部横断自動車道開通により、電車あるいは自家用車でも東京から2時間から2時間半の距離にあります。

農業に関しては、水稻、野菜、花き、果樹の栽培、酪農・養豚等の畜産が営まれています。日照量が多く、昼夜の寒暖差が大きいため、旨味の濃い野菜や実のしまった糖度の高い果樹が生産されています。寒さの厳しい冬をのぞけば、水が豊富で暮らしやすいまちです。

[佐久穂町の紹介動画はこちら](#)

◆佐久穂町の酪農の状況は？

町内では、八千穂TMRセンターから供給される良質な餌により良質な生乳が生産され、その生乳は「ぽっぽ牛乳」で有名な(株)ヤツレンに年間約3600トン出荷され、牛乳として皆さんの食卓などに並び、ソフトクリーム、チーズ、ヨーグルトとしても多くの方から喜ばれています。飼料価格高騰等により酪農危機が叫ばれる中、20年前より経営努力に取り組み、飼育頭数、生乳生産量は増加し続けています。その生乳を生産しているのは町内に7軒ある酪農家で、全て家族経営です。

[\(株\)ヤツレンの紹介はこちら](#)

◆佐久穂町内の酪農ヘルパーの状況は？

佐久穂町内では、4名の酪農ヘルパーが従事しており、ヤツレンヘルパー利用組合から2名、八千穂TMRセンターから1名、JA佐久浅間ヘルパー利用組合から1名となっています。

4名の酪農ヘルパーの内3名の方は、佐久穂町だけでなく長野県東信地域（15市町村）という広域の酪農家を各々が所属するヘルパー組合等で分担されて受け持っており、1名の方は、冬期間以外は高原野菜を出荷する野菜農家です。従って、慢性的な人材不足が課題となっています。



◆どんなお仕事？

今佐久穂町では、「酪農経営の継続と循環型農業・耕畜連携の推進」をテーマに、農業振興を図り、地域の活性化につなげるため、次の活動と一緒に考えてくれる協力隊を募集します！

1. 酪農サポーター

酪農は畜産の中で最も休みがとりづらい分野となっており、酪農家が休みをとりやすいようにサポートする仕事が、一般的に「酪農ヘルパー」と呼ばれます。酪農家が休日を取る代わりに酪農の毎日の仕事である、「搾乳、エサやり、子牛の世話、牛舎の清掃など」を行っていただきます。これらの仕事は良質な牛乳を安定して生産するにあたり、牛にとってできるだけストレスの無い環境を整えるために大切であり、そこを支える「酪農ヘルパー」は、酪農業の持続可能な体制づくりのためにとても大切な仕事となっています。町内にある7軒の酪農家さんのサポートを既に従事されている4名の酪農ヘルパーと協力しながら行っていただく予定です。

2. 堆肥の有効活用に向けた実践活動

佐久穂町のような中山間地では広大な農地を確保することは難しいため、限られた広さの農地の中で、いかに良質な農作物を栽培するか、反収を上げるのかが重要になっています。そこで、町では良質の堆肥を製造し、良質な農作物の効率的な栽培につなげるため、土づくりセンターの改修及び堆肥製造方法の検討・検証作業を進めています。酪農家から搬出される家畜ふん尿（きゅう肥）が耕種農家の土づくりに有効活用され、循環型農業の推進、耕畜連携につながります。これら良質な堆肥づくりに向けた取組について、酪農家や先輩地域おこし協力隊等関係者と一緒に進めていただきます。堆肥は、酪農以外に水稻、野菜、花き、果樹など様々な品目に活用されるため、酪農以外の農業者との関係性づくりも重要となります。

【主な業務】

- ①酪農家のサポートとして、「牛舎の掃除、エサやり、搾乳、子牛の哺乳等」。
- ②堆肥づくり、良質な堆肥製造に向けた検討、検証作業等
- ③酪農・堆肥を通して、町の農業（水稻、野菜、花卉、果樹等）や観光業等について研修を通して学んでいただき、町内のより多くの方と交流し関係づくりを行っていただきます。
- ④余裕があれば、①～③に関して、酪農や佐久穂町の魅力を伝える情報発信を、八千穂TMRセンターと協力しながら行っていただきます。

◆「TMRセンター」って何？

簡単に言うと、牛の給食センターです。

主な役割は牛の餌の供給です。専用の施設でまとめて餌を作成することで、各酪農家で餌作りをするよりも負担なく安定して良質な餌を作ることができます。

八千穂TMRセンターは、酪農家が自ら出資者となり、価格を抑えながら良質な飼料を生産するため、酪農の将来を築くために、2013年に創業しました。

それぞれの農家に合わせた飼料設計・生産を行うほか、生産能力の向上や酪農家の人材育成や経営サポートなどを行っています。

酪農家が出資・運営しているTMRセンターは、長野県にはここしかありません。



[八千穂TMRセンターの紹介はこちら](#)

◆「土づくりセンター」って何？

町内畜産農家から搬出される家畜ふん尿（きゅう肥）を有効に活用し、耕種農家の土づくりに役立てるため、平成16年度に町が建設しました。オガコやきのご糞菌床等を混ぜ、熟成させ堆肥を製造しており、酪農家を中心とした組合が運営を行っています。

製造される堆肥の品質が安定すること、製造される堆肥が有効活用され、耕種農家における適正な施肥による肥料削減や土壌汚染の防止等、循環型農業・耕畜連携の推進に向けて、土づくりセンターの改修及び堆肥製造方法の検討・検証作業を進めています。

良質な堆肥を使用し、良質な農作物の生産につなげ、町の重要な基幹産業である農業において、生産力の強化を図っていきます。



◆働き方のイメージ

酪農サポーターの仕事は、早朝と夕方がメインとなります。それ以外の時間はフリーとなりますので、堆肥づくりや町の農業等について学んでいただき、4年目以降の独立に向けて勉強、関係づくり等の時間にあてていただければと思います。

例

酪農サポーター				自由時間								堆肥づくり 又は 酪農関係者との活動・研修						早朝に酪農サポーターの日	
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	時					
酪農サポーター				自由時間								酪農サポーター						酪農サポーターのみの日	
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	時					
				堆肥づくり 又は 酪農関係者との活動・研修				自由時間				酪農サポーター						夕方に酪農サポーターの日	
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	時					

- 搾乳車が来る時間帯が異なるため、農家ごとに時間が1時間程度前後することがあります。
- 町内酪農家のどこに行くのかは、受入団体（八千穂TMRセンター）で調整します。

4. 任期3年間のイメージ

1年目は酪農サポーターの仕事を中心に進めつつ、酪農関係者や他の農業者等との関係づくりに努めていただきます。2年目以降については、任期終了後の方向性を含め、町や酪農家等と一緒に相談しながら事業を進めていきます。

○1年目

【酪農サポーターに関わる技術の習得、酪農家及び酪農関係者との関係性づくり】

- ・酪農サポーターの仕事に慣れること、技術を習得します。
- ・堆肥づくりの作業を通して堆肥づくりの仕組み等を学んでいただきます。
- ・業務に有効な資格（農業用機械の操作、簿記等）を取得することが可能です。資格取得だけでなく、実際の農業現場での実技訓練等も可能です。
- ・酪農関係者（TMRセンター、先輩地域おこし協力隊、㈱ヤツレン、町・県等）の活動・研修に参加し、酪農全般の業務について学んでいただくとともに、関係性づくりを行います。
- ・上記の仕事やそれ以外の時間を活用して、他の農家への研修や交流を通して、他の農業者等との関係性づくりを行います。

佐久穂町は冬がとても寒いため、12月～2月は露地栽培が難しい地域です。従って農繁期は研修を中心、農閑期は交流が中心となると思います。

- ・可能であれば、活動内容の情報発信等を行います。

【1年目の1週間のスケジュールイメージ】

月曜日：定例ミーティング・町内研修等（午前）、酪農サポーター（夕方）

火曜日：酪農サポーター（早朝）、堆肥づくり又は酪農関係者の活動・研修に参加（午後）

水曜日：酪農サポーター（早朝、夕方）

木曜日：堆肥づくり又は酪農関係者の活動・研修に参加（午前）酪農サポーター（夕方）

金曜日：酪農サポーター（早朝、夕方）

土曜日：休み（酪農サポーターが土日勤務となる場合があります。その場合は、平日が休みとなります）

日曜日：休み（酪農サポーターが土日勤務となる場合があります。その場合は、平日が休みとなります）

酪農サポーターの日程調整等は、八千穂TMRセンターと町が協力して行います。上記のスケジュールはイメージですので、詳細については、採用後八千穂TMRセンター等酪農関係者や町と調整しながら決めていくことになります。

酪農家での冠婚葬祭等により急なスケジュール変更もありますので、ご承知おきください。

○2年目

【酪農サポーターの継続、堆肥づくりに向けた調査研究】

1年目の活動を継続しつつ

- ・良質な堆肥づくりに向けた、調査研究、実践活動を行います。
 - ・酪農家以外の農家へのヒアリングや研修等を通して、町内のより多くの方と交流し、関係づくりを行います。
 - ・可能であれば、小中学生の酪農家への職場体験に現場研修として関わっていただきます。
- 2年目中においては、上記の活動を基本としつつも、任期終了後の方向性を町や酪農関係者と一緒に協議しながら事業を進めることとし、必要に応じて活動内容の見直しを行っていきます。

○3年目

【酪農サポーター、堆肥づくりの調査研究の継続、定着に向けた活動】

- 1年目及び2年目の活動を継続しつつ、空いた時間は任期終了後の目標に向けた準備を進める期間として活用していただければと思います。
- 以下に、可能性のある4年目以降の活動（独立）例を紹介します。
（例）
 - ・酪農サポーターとして独立します。（収入的に一本での独立も可能性あり）
 - ・土づくりセンターでの肥料づくり等に携わりながら、酪農サポーターとして独立します。
 - ・TMRセンターやヤツレン等に就職しつつ、酪農サポーターを継続します。（ただし、就職が保証されているわけではありません）
 - ・酪農家として独立します。（町内酪農家は家族経営で後継者もあり、施設の確保や立地条件等様々な理由から町内で酪農家としての独立は難しいと思われます。酪農家として独立されたい場合は、近隣地域での独立に対してできる限りのバックアップを行います。
 - ・野菜農家と酪農サポーターの兼業として独立します。

現段階では町とすると酪農サポーターを継続しつつ、堆肥の有効活用に向けた事業化等に関わっていただければと思いますが、これからの活動を通して、町や酪農関係者等と一緒に考えていきましょう。

5. 募集の背景

町内の酪農家は全てが比較的小規模な家族経営で規模縮小や廃業が危ぶまれていましたが、最近では跡継ぎ世代が経営に参加しており、町内の酪農業に明るい兆しが見えています。

酪農は畜産の中で最も休みがとりづらい分野で、一般的には酪農ヘルパーと呼ばれる方がサポートに入り、酪農家が休日を取る代わりに酪農の毎日の仕事である、搾乳、エサやり、牛舎の掃除等を行っています。これらの作業は牛乳を品質良く安定して生産するために毎日欠かせない作業であり、持続可能な体制づくりのためには酪農家自身の休みが取れるような環境を整えることが必要です。北海道の様な大きな酪農地域では酪農ヘルパー組合があり、酪農家のための環境が整っています。佐久地域にも組合はありますが、慢性的な人材不足が課題となっています。

また、土づくりセンターの堆肥についても、耕種農家にとってより良い堆肥を作ること、品質を安定させることが課題となっており、R2年度より採用した協力隊員と協力しながら良い堆肥づくりを模索中です。

そこで酪農業の支援×循環型農業の推進 を行う、酪農サポーターを募集します！

酪農サポーターという仕事を通して、次の項目の実現に向けて一緒にがんばっていきましょう。

- ①酪農は町農業産出額の1割を占める重要な産業です。酪農家の労働環境が改善されることにより、しっかりと後継者が確保されている農家の酪農経営の継続に向けた大きな力となります。
- ②佐久穂町のような中山間地では、限られた広さの農地の中で、いかに良質の農作物を栽培するか、反収を上げるのが重要です。良質な堆肥が耕種農家における良質な農作物栽培に有効活用されることで、町の重要な基幹産業である農業分野における生産力強化につながるだけでなく、循環型農業・耕畜連携の推進への大きな力となります。
- ③酪農家の生産意欲が高まることにより、自給飼料の増産に向けて遊休荒廃地が活用されることになります。これにより、遊休荒廃地の解消及び酪農業の振興、地域の活性化につながります。



6. 一緒に働く仲間（酪農家、TMRセンター）

若手酪農家① 酪農は大変なこともある仕事ですが、とてもやりがいのある仕事ですので、僕たちと一緒に佐久穂町の酪農を盛り上げていけたらと思います！



若手酪農家② 奥さん：私も実は酪農サポーターの仕事をやっていました！この仕事は好きじゃないと続かないので、ぜひ動物が好きな方に来てもらいたいです！！



TMRセンター有賀さん：わからないことがあれば何でも聞いてください！興味があれば牛のエサのこともお教えします！



7. 一緒に働く仲間（酪農ヘルパー）

町内で従事する酪農ヘルパーの中から、八千穂TMRセンターに所属されている、S.Kさん（37歳・女性）を紹介します。

長野県立科町出身で、酪農ヘルパーを始めて6年目となります。

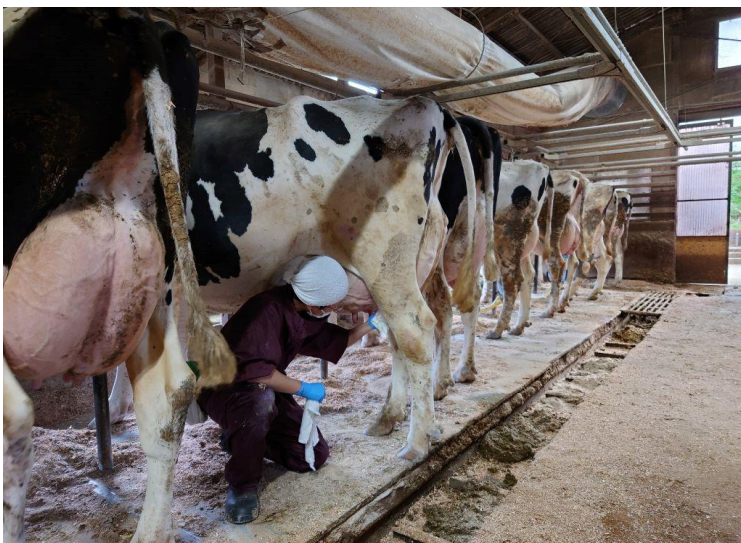
●酪農ヘルパーをはじめたきっかけを教えてください

それまでは福祉関係の仕事に従事し、牛に関わったことはありませんでした。北海道を旅行していた時、平成30年胆振東部地震により深刻な被害を受けている牛・酪農家の現状を見て、何とか助けたいと思い、稚内の酪農家でお手伝いを始めたことがきっかけです。

稚内の酪農家でのお手伝いは半年でしたが、地元に戻った後、牛の事が忘れられず、令和元年度から本格的に酪農ヘルパーの仕事を開始しました。JA佐久浅間の酪農ヘルパーを中心に活動しており、令和5年度から八千穂TMRセンターを通して、町内の酪農家にも入っています。

●酪農ヘルパーへの思いを教えてください

精神的に落ち込んでいた時に、牛に接して元気をもらったので、何とか牛に恩返しをしたいです。牛への愛情が強く葛藤することもあります。牛は自分の命を酪農家や消費者の皆さんに提供しているので、大切にしていきたい、とS.Kさんは語ります。



●つらいと思うことはありますか

牛が病気で体調が悪いときや怪我などで痛がっている姿を見るときはつらいです。それでも、牛のことが大好きで、私たちの仕事が酪農業として継続できている、重要な仕事を担っているという使命感と酪農家から日々感謝されていますので、毎日頑張っていくことができます。

雪が降った時の通勤は大変ですが、酪農家の皆さんが除雪してくれますし、今後も酪農ヘルパーとして続けていきたいです。

●酪農ヘルパーを考えている方へのメッセージをお願いします

佐久穂町の酪農家は優しい方ばかりなので、安心して働くことができます。酪農ヘルパーとはいっても、作業内容は農家によって微妙に違うので、農家の皆さんとのコミュニケーションが大切です。いろんな農家を知ることができ、それが酪農ヘルパーとしての経験値を高め、技術向上につながっているので、日々のコミュニケーションがとても楽しいです。

是非牛が好きな人に来てもらいたいと思います。牛や酪農家のために、一緒にがんばりましょう。



【S.Kさんの1日のスケジュール】

仕事の内容は各農家で異なり、作業全部を受け持つこともあれば、ほ乳せず搾乳だけで良いところもあります。あくまで目安です。

04:00～05:00	起床 ※その日の出勤先により異なります。 通勤時間は最も近いところで5分、遠いところで40分です。
05:00～07:00	出勤し、農家での作業開始 ※その日の作業は牛舎の清掃から始まります ※農家により出勤時間が変わります
06:00～07:00	エサやり、ほ乳（子牛）
06:30～07:30	搾乳
07:00～08:00	エサやり
07:30～08:30	清掃、片付け
08:30～09:30	帰宅
09:30～15:00	自由時間
15:30～17:30	出勤し、農家での午後の作業開始 ※基本的な仕事内容は朝と同じです ※農家により出勤時間が変わります
17:00～18:00	エサやり
17:30～18:30	搾乳
18:30～19:30	ほ乳
19:00～20:00	清掃、片付けなどを行い、1日の作業が終了
20:30～21:00	帰宅

8. こんな人と働きたい

必須：普通自動車免許（冬期間はとても寒く降雪することもありますので、雪道での運転経験があると良いと思いますが、慣れれば問題ありません）
パソコン（ワード、エクセル）の操作ができる方

専門的な知識は必要ありません！動物が好きな方大歓迎です！！

酪農サポーター業務にあると便利な資格（中型車運転免許、小型クレーン、家畜人工授精師、玉かけ、フォークリフト等）については、雇用契約期間中に取得が可能です。活動費の範囲内で、資格の取得経費を補助します。

9. 就農体験事業を行っています

町の気候・風土等を体験するだけでなく、「酪農サポーター」という仕事を体験してもらい、酪農家や酪農サポーターとの交流を通じて、就職先として検討してもらうため、町では就農体験事業を実施しています。

就農体験費用は無料で、宿泊費等の支援も行っています。酪農サポーターに興味のある方は、是非参加してみてください。

詳しくは、[こちらをご覧ください。](#)（現在、準備中）



10. 募集要件

募集人員：2名程度

待遇・福利厚生

勤務地 八千穂TMRセンター及び各酪農家

雇用形態・期間 会計年度任用職員

報酬：月額190,900円 賞与あり

社保など 健康保険・厚生年金・介護保険・雇用保険

勤務日数・勤務時間 週37.5時間

有給休暇 10日

住居：町営住宅又は新規就農センター（単身部屋10,000円、夫婦部屋20,000円）

車両 燃料費等は予算の範囲内で補助します。（リース補助可）

資格取得：活動費の範囲内で補助します。

11. 募集、応募・受付期間

令和7年7月1日（金）～令和7年12月26日（金）

募集期間中は、オンライン相談を随時受付しています。メール又は電話でお問合せ下さい。

日程を調整させていただき、担当者とのオンライン相談を実施します。

電話：0267-86-2529（直通）

メール：nousei@town.sakuho.nagano.jp

その他応募資格・提出書類等は、募集要項を確認してください。

12. 選考方法

一次審査 令和8年1月

書類選考 令和8年1月

二次審査

お試し協力隊・面接 令和8年2月（予定）

採用決定 令和8年2月（予定）

採用 令和8年4月